



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 投稿 パラリンピック出場体験レポート：2ページ
- 投稿 エクアドル派遣レポート：3ページ
- 市民活動支援センター：4・5ページ



カナダバンクーバー2010パラリンピック冬季競技大会

パラリンピック出場体験レポート

アルペンスキー座位の部・スラローム 山本光文さん(六連町)

皆さんこんにちは。山本光文と申します。2003年にチェアスキー競技を始めたところから目標にしていた夢の舞台、パラリンピックに出場してきました。



●山本光文さんプロフィール
19歳のときに交通事故に遭い両足を切断。28歳でアルペンスキーのポスターを見たのを機にチェアスキーを始める。静岡県湖西市出身、六連町在住。

いざ夢の舞台へ

3月12日(金)に、バンクーバー市内にあるBCプレイス・スタジアムで行われた開会式。超満員のスタジアムに入場したときは、鳥肌が立つほど興奮しました。退場する時にスタンドから「ニッポン、がんばれ」と声をかけられ感動しました。同級生をはじめとする方々からの寄せ書きに書かれた『勇往邁進』の意味は、目標に向かって脇目もふらず勇ましく前進すること。これまでサポートしてくれたスキーチームなど、たくさんの方から応援メッセージをいただき、とてもうれしかったです。



寄せ書きの前で

さあ勝負のとき

私の出場したスラロームという種目は、2本滑った合計タイムで競います。最終日に予定されていたレース日程が大幅に変更となり初日に。最終日に向けて調整していたので、レース当日は焦りと緊張でいっぱいでした。1本目のスタート地点に立ったときは、緊張よりもこれまでの思いが一気にわきあがり、なんとかゴールしたいという気持ちで体がガチガチになってしまいました。1本目は後悔しか残らない内容でしたが、2本目は思い切って自分の力を出し切ることだけを考えてスタートしました。

その結果、2本目の滑りは自分では合格だったと思います。残念ながら順位は14位で、上位入賞という目標はかないかもしれませんが、満足ののできるパラリンピックでした。



●パラリンピック開会式